

学校園有効活用プロジェクト

(万全のオミクロン対策で実施致します。)

(不織布マスク2枚着用、発熱のある方の参加はご遠慮下さい。)

第1回 2月20日(日)10時～(雨天の場合は翌週日曜日同時刻)

当日は植え付けの準備のため、除草、石灰施用、荒起し、碎土などを予定しています。

第2回 3月13日(日)10時～(雨天の場合は翌週日曜日同時刻)

土づくり(土壌の物理性・化学性の改良)のため堆肥(岐阜市の堆肥「椿」)を畑の土に混入しよく混ぜ合わせます。これらの作業によって、土壌の団粒化が促進され、土壌の三相分布が改善されます。

以下、学校側で希望の栽培希望種目があればその栽培を行います。学校側で特定の作物の栽培の希望が無い場合は学校園でもミニトマト栽培を行います(みんなトマト大好き作戦)。
その他に市販の園芸培養土を使ったトマトの袋栽培も行います。自宅でトマトの袋栽培を希望する方にはその方法をご指導します。

第3回 4月3日(日)10時～(雨天の場合は翌週日曜日同時刻)

元肥施用、畝作り、マルチフィルム張り、雨除け用パイプフレーム、雨除けフィルム設置。

第4回 4月24日(日)10時～(雨天決行)

苗の花房の出る方向を見定めてミニトマトを定植し、苗が倒れないように誘引します。

第5回 5月8日(日)10時～(雨天決行)

生長に合わせてトマトを誘引、腋芽摘み、誘引を繰り返します。収穫は7月中旬以降の予定です。トマトは無農薬でも格別美味しいトマトが収穫できます。収穫物は、トマトは美味しいと思っていない子供たちに試食してもらいます。

格別に美味しいトマトを作る方法と原理

雨除け、マルチフィルム被覆、袋栽培などで水を吸い難い条件で育てたトマトは、生存に必要な水を効率よく吸うため、自身の浸透圧をあげます。浸透圧の高い状態の果実では、糖、アミノ酸などの物質の濃度が上昇するため、食べた時の甘み・うま味が増すことになります。冬に野菜が美味しくなるのも同様な原理で、野菜が寒さで凍らないように、地温の浸透圧を上げるためです。